

東北森林科学会 第16回

2011年度（平成23年度）

プログラム

と き : 2011年8月25日（木）～26日（金）

と ころ : 青森県総合社会教育センター

（青森県青森市大字荒川字藤戸 119-7）

主 催 : 東北森林科学会

共 催 : 青森県

地方独立行政法人 青森県産業技術センター

日本森林学会

日本森林技術協会

大会参加者の皆様へ

受 付

日時 8月25日(木) 午前9時～

場所 2階ロビー(総合社会教育センター2階大研修室前)

受付時に大会講演要旨集を配布致します。また、事前に参加費、懇親会費をお振り込み頂いていない方は、受付時にお支払いください。事前にお振り込みいただいた参加費は返却いたしかねますのでご了承ください。

大会参加費(当日) (要旨集代を含む)	2,500円
懇親会参加費(当日)	4,000円

総 会

東北森林科学会の総会を下記の通り行います。

日時 8月25日(木) 16:40～17:30

場所 大研修室

懇親会

日時 8月25日(木) 18:00～

場所 ラ・プラス青い森2Fメープル(〒030-0822 青森県青森市中央1-11-18)

(*開催要領の場所から部屋が変更になりました)

編集委員会

日時 8月25日(木) 10:00～11:00

場所 第6研修室

理事会

日時 8月25日(木) 11:00～12:30

場所 第6研修室

昼食、宿泊等について

昼食はセンター内レストランまたは近隣のレストラン、コンビニエンスストア等をご利用ください。宿泊につきましては、各自でご対応お願い致します。また、会場の駐車スペースは台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用下さい。

大会日程

	8月25日(木)		8月26日(金)	
9:00	ポスター準備	受付	ポスター準備	口頭発表
10:00	ポスターセッション		編集委員会	
11:00		ポスターセッション		
12:00		理事会		
13:00	ポスター回収 / 準備	特別セッション	ポスター回収	
14:00				
15:00				
16:00	東北森林科学会総会			
17:00				
18:00	懇親会			

特別セッション

■ 8月25日(木) 13:00-16:30 大研修室

東北地方の森林における東日本大震災の被害の現状と復興への取り組み

・趣旨：2011年3月11日に東北地方を襲った震災は、居住域だけでなく森林へも大きな被害を及ぼしている。この被害の現状を正しく把握し、復興へ向けた取り組みを提案することは、現在の東北森林科学会の大きな課題であると考えられる。今回は、会員それぞれが被災地域の現状について共通認識を持てるように、各県担当者と大学研究者をパネラーとしてパネルディスカッション形式で討議を行い、今後の復興に向けた取り組みについて参加者と議論を行う。

・コーディネーター・司会進行

東北森林科学会第16回大会運営委員長 野堀嘉裕（山形大学農学部）

・パネラー

大学関係

秋田県立大 板垣直行（システム科学技術学部）

岩手大 山本信次（農学部）

東北大 清和研二（農学部）

山形大 林田光祐（農学部）

県関係

青森県	野呂公	(農林水産部林政課)
岩手県	東野正	(林業技術センター)
宮城県	河野裕	(農林水産部)
秋田県	金子智紀	(農林水産技術センター 森林技術センター)
山形県	鈴木健治	(農林水産部森林課)
	渡部公一	(森林研究研修センター)
福島県	会田充茂	(農林水産部森林保全課)

連絡先

大会企画主事 芦谷竜矢 (山形大学農学部) 鶴岡市若葉町 1-23

TEL : 0235-28-2922 e-mail ashitani@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

ポスターセッション

今年度も2日間に分けて実施します。セッション開始時間までにご自分の番号のパネルにポスターを貼ってください。また、コアタイムでは発表者はポスターの前で説明をして頂きます。

ポスターセッションA (1日目)

8月25日(木) 9:30-12:30 第1研修室

9:00-9:30 ポスター準備

11:30-12:30 コアタイム

12:30-16:30 ポスター回収

- | | | |
|----|--|---------------|
| 1 | 三陸沿岸地域スギ林の大津波による塩害被害 | 小野賢二 (森林総研東北) |
| 2 | 東日本大震災と今後の森林・林業・木材産業 | 山本幸一 (森林総研東北) |
| 3 | 樹木個体毎の炭素重量推定用 MS エクセル・ワークシートの開発 | 野堀嘉裕 (山形大農) |
| 4 | モンゴルのカラマツ林における収量-密度図の試作 | 瀧誠志郎 (岩手連大) |
| 5 | 子吉川流域におけるスギ林分収穫表の作成 | 田村浩喜 (秋田県農技セ) |
| 6 | カラマツ樹幹部における炭素重量の推定と針広混交林における炭素重量の推定 | 桑原理早 (山形大農) |
| 7 | TCW を用いた山形大学演習林内スギ林の炭素重量の推定 | 南佳織 (山形大農) |
| 8 | 列状間伐の導入にあたっての得失 | 今井辰雄 (福島県林セ) |
| 9 | 間伐材利用拡大システム調査について | 堀米英明 (山形県森研セ) |
| 10 | イチョウの標準年輪曲線の作成 | 佐々木賢二 (山形大農) |
| 11 | スギ黒点病菌の人工接種適期の検討 | 壽田智久 (福島林セ) |
| 12 | 東日本太平洋沖地震津波で被害を受けた海岸林におけるアカマツ・クロマツ被害モニタリングの必要性について | 中村克典 (森林総研東北) |
| 13 | 北海道と北東北におけるクスサン被害発生リスクの検討 ~2010年度の報告~ | 松木佐和子 (岩手大農) |
| 14 | 人工林における下刈り時期の違いが昆虫相に与える影響 | 鈴木 諒 (山形大院農) |
| 15 | ブナ二次林における個体成長予測の競争指数 | 野村征宏 (山形大院農) |
| 16 | ニセアカシアの非休眠種子は繁殖に貢献するのか | 千葉 翔 (山形大院農) |

- | | |
|---|------------------|
| 17 火山性荒原の植生被覆マウンドの形状・サイズと空間分布 | 大村勇太 (山形大農) |
| 18 ウエツキブナハムシは産卵選択をしているのか? | 清野陽介 (山形大院農) |
| 19 ブナ二次林の葉生産量と種子生産量、BA成長量の変動 | 鈴木 舞 (山形大農) |
| 20 スギとクリの早材形成から晩材形成への移行時期 | 織部雄一朗 (森林総研東北) |
| 21 低密度植栽試験地におけるカラマツコンテナ苗と2年生大苗の植栽工期の比較 | 木戸口佐織 (岩手県林技セ) |
| 22 強度な間伐を行ったスギ人工林はどうなったか—スギ保残木・広葉樹・下層植生の変化と推移— | 和田 覚 (秋田農技セ森林) |
| 23 植栽したブナの成長と成林阻害要因について | 飯田昭光 (青森県産技セ林研) |
| 24 撮像素子の違いが全天写真による相対散乱光推定に与える影響—コンパクトカメラと一眼レフカメラで差があるか— | 八木橋 勉 (森林総研東北) |
| 25 抜切りを行ったスギ人工林の林床植生と土砂移動量 | 上野 満 (山形県森研セ) |
| 26 スギ若齢木と高齢木の樹冠内葉齢構成と一次枝成長 | 白旗 学 (岩手大農) |
| 27 庄内地方における2009年12月の雪害発生時の降雪の特徴 | 鈴木千由紀 (山形県村総森整課) |
| 28 森林学習の実施による学校林活用の推進について | 大築和彦 (山形県森研セ) |
| 29 若年層の居住環境の動向と住宅問題
—山形県庄内地方在住の大学生の事例から— | 小川三四郎 (山形大農) |
| 30 県産スギ材を活用した外構部材(木製サッシ)の低含水率乾燥技術の開発 | 矢萩芳春 (山形県森研セ) |
| 31 スギ樹皮の機械的損傷に対する反応 | 佐藤 碧 (山形大農) |
| 32 ヒノキの幹及び枝の心材色 | 星野 南 (山形大農) |
| 33 スギ針葉ジテルペン炭化水素成分の抗蟻活性 | 小林ひかる (山形大農) |

ポスターセッションB (2日目)

8月26日(金) 9:30 - 12:30 第1研修室

25日 12:30 - または 26日 9:00 - 9:30 ポスター準備

11:30 - 12:30 コアタイム

12:30 - 13:00 ポスター回収

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1 自動撮影装置で捉えた林業技術総合センターの哺乳類相 | 水田展洋 (宮城県林技セ) |
| 2 カツラマルカイガラムシ被害林におけるキクイムシ相 —その2— | 蛭田利秀 (福島県林セ) |
| 3 山形県における広葉樹林の集団的被害の実態 | 斉藤正一 (山形県森研セ) |
| 4 林地への菌糸体埋設によるホンシメジの発生 | 阿部 実 (秋田県農技セ森林) |
| 5 秋田県内における山菜の栽培地調査 | 須田邦裕 (秋田県農技セ森林) |
| 6 寒冷地でのニオウシメジ自然栽培 | 菅原冬樹 (秋田県農技セ森林) |
| 7 スギおが粉を使用したアラゲキクラゲ菌床栽培試験 | 久野正俊 (青森県産技セ林研) |
| 8 オオイチョウタケ栽培跡地におけるイヌドウナの生育状況 | 更級彰史 (宮城県林技セ) |
| 9 ゼンマイの効率的な育苗方法の検討 | 古澤優佳 (山形県森研セ) |
| 10 広葉樹皆伐跡地へのワラビポット苗植栽における活着率 | 中村人史 (山形県森研セ) |

- 11 岩手県矢巾町で行ったハウス内仮伏せの被覆内温度変化調査 高橋健太郎 (岩手県林技セ)
- 12 津波に遭遇したシイタケのホダ木に対する浸水、散水処理がホダ木の劣化に及ぼす影響
成松眞樹 (岩手県林技セ)
- 13 スギ心材抽出物の植物生長に及ぼす影響 後藤郁美 (山形大院農)
- 14 岩手県浄法寺明神沢におけるウルシ樹液異常漏出被害事例 小岩俊行 (岩手県林技セ)
- 15 仙台広瀬川の自然環境と歴史・文化の伝承に向けて 松山正将 (東北工大工)
- 16 スギ人工林の間伐が無積雪期の水流出に及ぼす影響 金子智紀 (秋田農技セ)
- 17 山地斜面における地形起伏と積雪深分布の関係 岡本隆 (森林総研東北)
- 18 常陸太田試験地における間伐に伴う日蒸発散量の変化 久保田多余子 (森林総研東北)
- 19 ハマゴウ匍匐枝を用いた防浪砂堤の緑化試験について 張 先哲 (岡山大院環境)
- 20 林地残材の収穫強度の違いが土壌化学性におよぼす影響の評価
一土壌バック法による検討一 山田 毅 (森林総研東北・名大院生命農)
- 21 ナラ類集団枯損被害林の皆伐による早期更新の可能性 須藤泰典 (山形県森林セ)
- 22 作業路の盛土路面における最適転圧回数 の 解 明 菅原大輔 (岩大院農)
- 23 地域産材を用いた単板積層材による構造用建築部材の開発 大西裕二 (宮城県森林整備課)
- 24 いかなる林業が暮らしと雇用を守るのか
一近年の ILO の林業労働政策と FAO の林業政策の検討から一 菊間 満 (山形大農)
- 25 クロマツ伐採跡地の植物相と昆虫相 (甲虫類) の推移 今 純一 (青森県産技セ林研)
- 26 菌類を利用したヒノキ花粉飛散防止法の検討 窪野高德 (森林総研)
- 27 スギ黒点病菌の雄花組織内への侵入経過 市原 優 (森林総研東北)
- 28 青森県津軽地方のミズナラ林におけるナラ枯れ及びナメクジハバチ属による被害について
木村公樹 (青森県産技セ林研)
- 29 ヒバ人工林の枝打ち施業による漏脂病回避効果 田中功二 (青森県産技セ林研)
- 30 急傾斜地における車両系伐出機械による間伐システムの分析 中山 駿 (岩手大院農)
- 31 スギ緑葉の分解に関わる間伐と積雪の影響 平井敬三 (森林総研東北)
- 32 クロマツさし木苗の海岸砂丘地における成長経過 渡部公一 (山形県森研セ)
- 33 切り枝通過試験によるマツノサイセンチュウ抵抗性の簡易判定の試み
玉城 聡 (森林総合研東北)

口頭発表

8月26日(金) 9:10-11:25 大研修室

口頭発表は1題15分(発表12分、質疑3分)厳守でお願いします。発表者には次の発表の座長をしていただきます。使用機材は液晶プロジェクターです。パワーポイント用ファイルは9:05までに(できるだけ前日に)USBフラッシュメモリあるいはCD-ROMの形で会場係にお渡しください。なお、会場のパソコンのOSはWindowsXP、ソフトはPowerPoint2007の予定です。パソコンの持ち込みはお断りいたします。

9:10-9:25	秋田県に自生するナラタケ属菌の種の同定と分布	啗祐樹 (秋田県立大)
9:25-9:40	秋田県における将来のナラ枯れ蔓延による森林被害の予測	長岐昭彦 (秋田県農技セ森林)
9:40-9:55	秋田県長坂試験地における 2010/2011 年積雪期の樹冠通過降水量	岩谷綾子 (秋田県農技セ森林)
9:55-10:10	岩手県内陸北部で 2010 年末に発生した冠雪害について	安田幸生 (森林総研東北)
10:10-10:25	スギ人工林の間伐が無積雪期の蒸発散量に及ぼす影響	野口正二 (森林総研東北)
10:25-10:40	東北地方太平洋沖地震津波による岩手県海岸林の被害状況	星野大介 (森林総研東北)
10:40-10:55	先駆性低木種実生の器官成長特性と土壌環境ストレス反応	橋本良二 (岩手大農)
10:55-11:10	スギ人工林間伐後における流域葉面積指数経年変化の推定 (予報)	齋藤武史 (森林総研東北)
11:10-11:25	写真解析によるウルシ樹冠の紅葉期色調変化	中北 理 (森林総研東北)

大会会場案内図



青森県総合社会教育センター

(青森県青森市大字荒川字藤戸 119-7)

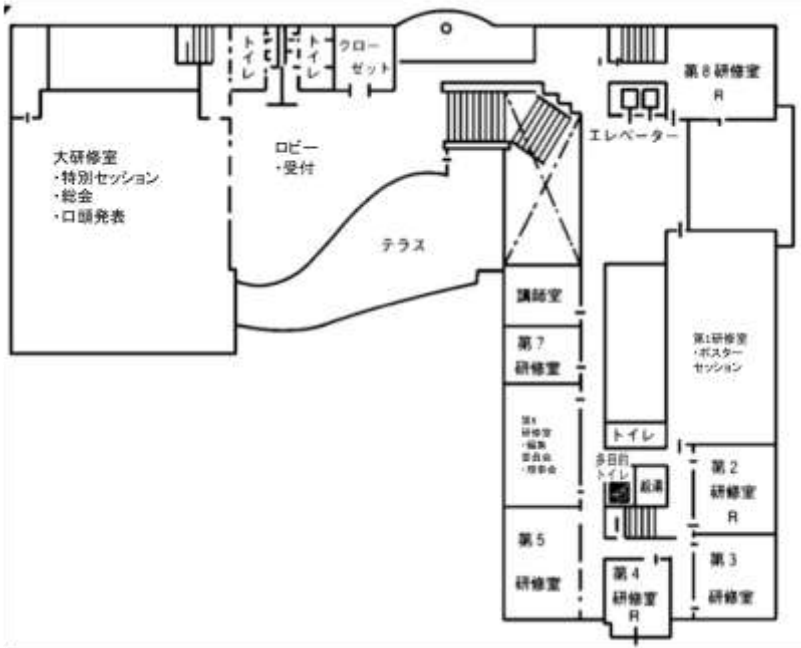
<交通案内>

●バス 社会教育センター前で降車

- ・青森駅前から (青森朝日放送、南部工業団地、浪岡駅前 (空港経由) 行)
- ・国道古川から (高田、野木、入内、青い森病院、大柳辺行)
- ・東部営業所から (野木、大柳辺、入内行)
- ・県立中央病院前 (県病構内) から (高田行)

●タクシー 青森駅から 20分 (4 Km)

2 階案内図



- 大研修室：特別セッション 総会
口頭発表
- 第1研修室：ポスター発表
- 第5研修室：休憩室
- 第6研修室：編集委員会 理事会

大会に関する問い合わせ先

〒997 8555 山形県鶴岡市若葉町1-23 山形大学農学部生物環境学科内
東北森林科学会 第16回大会運営委員会

事務局：TEL&FAX 0235-28-2922(芦谷), TEL & FAX 0235-28-2925(大谷)

E-mail : ashitani@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp, hohtani@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp